



シンポジウム

アジアにおけるソーシャル・イノベーション

～次世代の市民社会ネットワーク構築に向けて～

Symposium:

Social Innovation in Asia; Building the Future of Civil Society Networks

アジアはダイナミックに成長し続けています。

他方で、国境をまたぐグローバルな社会課題はますます多様化・複雑化しており、従来の政府、民間、NPOといった立場を超えて、また国を越えて協働することが求められています。

アジアにおける様々な社会課題を解決するために、

必要なソーシャル・イノベーションとは何か、アジアにおける協働の可能性は何か。

このシンポジウムでは、アジアにおけるソーシャル・イノベーションの最新動向や取り巻く環境を把握し、実践者による取り組みを紹介しながら、ソーシャル・イノベーションと次世代の市民社会ネットワーク構築について議論します。

2019年 **7月5日** [金] 18:00-20:30 (開場17:30)

東京芸術劇場 ギャラリー1 [5F]

東京都豊島区西池袋1-8-1

参加無料・事前申込み制 日英同時通訳

お申込みはこちら <https://eventregist.com/e/soil>



ASIAcenter
JAPAN FOUNDATION

avpn

東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre

主催: 国際交流基金アジアセンター 共催: Asian Venture Philanthropy Network (AVPN)、東京芸術劇場

Program

18:00-18:05	主催者挨拶	Greetings from the Organizer
18:05-18:55	基調講演 変革するアジアにおける創造的対応 米倉 誠一郎 アジアにおけるソーシャル・イノベーションのエコシステム ナイナ・バトラ	Keynote Speeches Creative Response in a Changing Asia Seiichiro Yonekura Ecosystem of Social Innovation in Asia Naina Subberwal Batra
18:55-20:30	パネルセッション／ディスカッション モデレーター: 伊藤健 スピーカー: 永田宏和, アシル・アハメッド, 中村英誉, デニス・チア	Panel Session / Discussion Moderator: Ken Ito Speaker: Hirokazu Nagata, Ashir Ahmed Hidetaka Nakamura, Dennis Chia

※各パートの開始時間は、当日の進行により変更になる場合があります。

*Indicated time may change on the day.

Speakers

米倉 誠一郎

Seiichiro Yonekura

法政大学大学院教授、一橋大学イノベーション研究センター名誉教授
Hosei University, Professor
Hitotsubashi University, Emeritus Professor



専攻はイノベーションを中心とした企業の戦略や組織の歴史的研究。『一橋ビジネスレビュー』編集委員長、およびアカデミーヒルズ「日本元塾塾長でもある。ハーバード大学歴史学博士号取得(Ph.D.)。著書は、『松下幸之助一きみならざる、必ずできる』、『イノベーターたちの日本史-近代日本の創造的対応』、『経営革命の構造』など多数。

ナイナ・バトラ

Naina Subberwal Batra

アジアン・ベンチャー・フィランソロピー・ネットワーク(AVPN) 会長兼CEO
Asian Venture Philanthropy Network, Chairperson and CEO

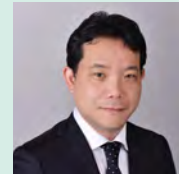


コーネル大学で組織・人材戦略(Industrial and Labor Relations)修士号を取得、トップの成績で卒業。米国マサチューセッツ州のマウント・ホリオーク大学で経済学および国際関係学の学士号、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスで経済学の総合コースディプロマを取得。2013年9月にAVPNのCEOに就任、2018年5月には会長に就任。ナイナのリーダーシップにより会員数は3倍以上に伸び、AVPNは真の意味で地域の担い手へと成長した。氏の指揮のもと、AVPNの事業はベンチャー・フィランソロピーのみに焦点をあてた従来のあり方から、社会投資家のエコシステム全体を支援するあり方へと視野を広げ、かつての慈善家支援事業から、投資家や企業CSRの専門家にも影響力を持つ存在へと成長を遂げた。今では500を超えるAVPNメンバーを相互に繋ぎ、力を与え、教育するAVPNの革新的なサービス開発に尽力した。

伊藤 健

Ken Ito

アジアン・ベンチャー・フィランソロピー・ネットワーク(AVPN) 東アジア統括
Asian Venture Philanthropy Network, Regional Head (East Asia)



卒業後、日系メーカー勤務を経て、米国Thunderbird Global School of Managementにて経営学修士課程を修了、GE Internationalに入社。シックス・シグマ手法を使った業務改善やコーポレート・ファイナンス部門で企業買収後の事業統合等を行う。2008年にGE社を退職、NPO法人ISL社会イノベーションセンターを経て、2010年より慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任助教、2016年より特任講師。主に社会的インパクト評価を中心に研究。2010年に設立されたアジアにおけるベンチャー・フィランソロピーの協会組織であるAsian Venture Philanthropy Networkの東アジア地域統括を務める。特定非営利活動法人ソーシャルバリュージャパン代表理事。

永田 宏和

Hirokazu Nagata

NPO法人プラス・アーツ理事長、HANDS!プロジェクト総合アドバイザー
NPO Plus Arts, Chairperson



大学で建築を学び、大学院ではまちづくりを専攻、地域活動の礎を築く。大学院修了後は大手建設会社の竹中工務店に就職。在職した8年間で企業での仕事のいろはを学ぶ。退社後、企画プロデュース会社「iop都市文化創造研究所」を設立。2005年の阪神・淡路大震災10周年記念事業で、楽しく学ぶ新しいカタチの防災訓練「イザ!カエルキャラバン」を開発したことをきっかけにNPO法人プラス・アーツを設立。現在に至る。2012年からデザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)の副センター長も務める。

アシル・アハメッド

Ashir Ahmed

九州大学システム情報科学研究院准教授
Kyushu University, Associate Professor



アハメッド博士の研究は社会課題解決のための技術を生み出すことを目的としている。この目標に向けて、グラミン銀行の中にグローバル・コミュニケーション・センター(GCC)を設立し、九州大学に研究者チームを作った。チームはGramHealthやGramCar、GramAgri、GramCleanといった数多くの国内外のプロジェクトを生み出した。同氏は日本企業のソーシャルビジネス参画を促し、数多くのソーシャルビジネスの創出を手助けした。2017年から国際会議「Healthcare, SDGs and Social Business」を主催。1999年に東北大学にて博士課程取得後、米国アバヤ研究所(元ベル研)、NTTコミュニケーションズで働いた経験を持つ。

中村 英誉

Hidetaka Nakamura

一般社団法人 Social Compass 代表理事
Social Compass, Representative Director



1980年8月6日生まれ。2004年京都造形芸術大学映像・舞台芸術学科卒業。卒業後、英国ロンドンC.H.A.S.Eアニメーションスタジオにてクリエイターとして労働ビザを取得し3年間勤務。2009年12月株式会社HIDEHOMARE設立(現・コンパスアカデミア株式会社)。2010年3月東京大学内ベンチャー企業の株式会社フィジオスのアートディレクターとして勤務。米国シリコンバレーのビジネスコンテストIEXPOにて最優秀賞受賞。2012年よりカンボジア在住。2016年一般社団法人SocialCompass設立。

デニス・チア

Dennis Chia

株式会社 BOUNDLESS 代表取締役
BOUNDLESS, CEO and Founder



シンガポール出身。2008年来日。2017年に株式会社BOUNDLESSを設立。旅行大好きな言語オタク。来日して4年間で47都道府県を制覇したデニスは教育関係者、職人、政治家、起業家、デザイナー、芸能界等幅広い人脈を持つ。地域の魅力を再発掘すると同時に、少子高齢化が進む日本の各地域が直面している課題解決に励んでいる。自身の人脈を活かし、日本に住んでいる外国人や国際的な背景を持つ感性の高い日本人と共に新しいコミュニティ構築に力を注いでいる。日本で得た知識や経験を活かし、世界にも通用する持続可能な社会作りに貢献することを目標に活動している。

「響きあうアジア2019」とは

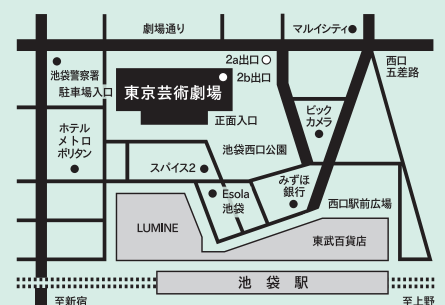
「響きあうアジア2019」は、国際交流基金アジアセンターが、日本と東南アジアの文化交流事業を幅広く紹介する祭典で、主に2019年6月から7月にかけて開催いたします。国を超え共に創り上げた舞台芸術、映画から、東南アジア選抜チーム「ASIAN ELEVEN」と日本チームによるサッカー国際親善試合、「日本語パートナーズ」のシンポジウムまで、珠玉のイベントの数々を楽しめる機会です。なお、「響きあうアジア2019」は、同年に東南アジアでも展開予定です。

国際交流基金アジアセンターは、beyond2020プログラムを応援しています。

お問合せ

国際交流基金アジアセンター文化事業第2チーム
TEL.03-5369-6025 (平日10:00-18:00)

Access



会場アクセス: 東京芸術劇場
東京都豊島区西池袋1-8-1
各線「池袋駅」下車2b出口直結